

工業部会通信

(発行) かながわ経済新聞合同会社
 〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3
 商工部会館本館1階 自由にお読みください

かながわ経済新聞
KANAKEI

DX支援を加速 相模原会議所が独自事業

相模原商工会議所は、中小企業向けにDX（デジタルトランスフォーメーション）化に向けた支援を加速させる。2022年度から同会議所独自の「DX推進支援事業」を実施。専門家が市内企業を個別訪問し、DX化に向けた継続的な伴走支援を行っていく。また、情報処理技術者試験の1区分である国家資格「ITパスポート試験（iパス）」の講座を経営者や社員を対象に開催する。こうした試みは県内の会議所でも珍しいという。

専門家らが個別訪問

会員、非会員を問わず市内事業所が対象。生産性向上に向けて業務のDX化に踏み切りたいとする企業に対し、職員と専門家が訪問。計5回にわたり支援する。業務の見える化からスタートし、改善点を見つけ最終的には専門家が何らかの提案をしていく。企業が6回目を以降の支援を希望すれば、連携する神奈川県産業振興センター（KIP）にバトンタッチする。伴走支援は同会議所会員は無料、非会員でも1回当たり1万1000円で受けられる。



先に開催するフォーラムのチラシ

一方、ITに関する基礎的な知識が身に付くiパスの試験講座は年2回（6、8月）と10月以降を予定する。

DXやAI 導入の手引き

経済産業省は、中堅・中小企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進に向けた「デジタルガバナンス・コード」実践の手引きと、中小企業がAI（人工知

能）を導入する際のノウハウを集約した「中小企業向けAI導入ガイドブック」をまとめ、公開したと発表した。この手引きでは、DXの進め方やデジタルガバナンス・コードを実践している事例を紹介。一方、ガイドブックは「AI導入を目指しているが、何から準備して、どうやって始めればいいのか分からない」「AI導入に対して、いつ・どのようなステップで意思決定すればよいのかイメージを抱える中小企業経営者や担当者向けに、チェックリストやワークシートを埋めていくことで具体的な導入手順が学べる内容となっている。

青工研 通常総会を開催 統一テーマ「顔になれ」

相模原市青年工業経営研究会は、市立産業会館で「第42回通常総会」を開催した。通常総会では、2021年度の事業報告・収支決算のほか22年度の事業計画・収支予算（案）などについて審議し、すべて原案通りに承認された。



あいさつする南会長



総会で質問する会員

また、22年度の南篤史会長（ミナミ工機社長）は統一テーマとし「顔になれ」を掲げ、「チャンス到来」を掲げると表明。あいさつで、「新型コロナウイルスの感染拡大や、緊迫した世界情勢など、従来では考えられない『まさか』が起き続けている。現在もコロナ禍で青工研らしい活動にブレキがかかっている。このような状況だからこそ変革の好機と捉え、自分がここで決めた分野で一目置かれる存在に顔になろう」と力説した。

工業副部長 コラム

経営者の 楽しみの

今月は経営の楽しさについて話します。

経営をする上で一番の楽しみは創業や新規事業の立ち上げです。その中でも大切なのは、自分が考える事業に市場性があるのかの予測を立てることです。予測の主なものは「需要」です。早すぎても遅すぎても逆になります。経営者が判断します。経験に基づいたかなりの審美眼が必要になります。



すでに遅しです。私の経験から言いますと、3年先に採算ベースに乗る位の早さで立ち上げるのが理想です。「需要の予測」も必要です。中小企業の資金力では「マーケットリサーチ」はできません。市場が必要としているかどうかを

「需要予測」がついたら、まずは適任者探しです。その市場の専門家である必要はありません。市場参入を決めたら、立ち上がるまで諦めない強い精神力の持ち主であることが重要です。中小企業の場合、経営者自身が旗振り役になることは当たり前ですが、一人ではできません。社内にはいない場合は外部に求めます。この人選に失敗すると、いくらよい「需要予測」であっても事業化はできません。特に海外で新規事業立ち上げの際、外国人と組むには注意が必要です。日本人とはコミュニケーションの取り方が全く違いますので、何回も繰り返し確認し合わないといけない方向に向かってしまいかかってしまいます。

私は米国と韓国の事業立ち上げで、この失敗をしました。シンガポールは立ち上げ時から社員を年間、今も続いています。このように「需要予測」を立てたら、「そこから先の成功の秘訣（ひけつ）」は、粘り強く諦めない人を充てられるかどうかにかかっています。春爛漫のように楽しく新規事業に取り組んでください。（湘南デザインCEO／公認心理師・松岡康彦）

新規事業は「粘り強く諦めない」

（松岡康彦）



さあ、5年後の未来を見に行こう。

新規会員募集中 近未来技術研究会

相模原商工会議所工業部会